

MAGAZIN | NEWS

20.04.2021

アルテアパッケージグループ、コギテル社 生産能力増強のため、W&H社グラビア印刷機ヘリオスターIIを導入

チュニジアのパッケージコンバーターであるコギテル社は、新しいグラビア印刷機の選考過程において、達成するのが困難と思われる目標に直面していました。同社は、すべての製品分野で効率と品質を向上させ、高まる市場のニーズに即座に対応し、迅速に設置できる機械に投資したいと考えていたのです。選考の結果、コギテル社はヘリオスターIIを選択。厳しい選考過程を勝ち抜いたグラビア印刷機であるW&H社のヘリオスターIIが、現在コギテル社の生産工場で稼働しています。

「軟包装パッケージに対する市場需要の高まりは、弊社の製造現場を近代化する必要性と一致していました。最高の品質基準でお客様にサービスを提供する、という私たちのコミットメントに後押しされ、製造現場を近代化することが私共にとってビジネスチャンスとなることが改めて認識されました。これを受けて私共は、1つの目的に基づいた設備更新計画を開始しました。即ち、市場のニーズを満たすための新しい装置の迅速な設置です。」と、コギテル社のCEOであるナディア・ゼハル氏は説明します。時間が限られている事を受けて、このプロジェクトは迅速に進められました。「投資は長期的にリターンをもたらし、すべての製品分野の品質と効率を向上させる必要があります。そのため、R&D、サプライチェーン、購買ディレクターであるモンセフ・マラクキ氏主導による綿密な調査が行われ、調査は記録的な速さで完了されました。」と、技術ディレクターのニザール・サメット氏は言っています。現在コギテル社は、チュニスから約2時間離れたスファックスの生産工場で、W&H社のグラビア印刷機ヘリオスターIIを稼働させています。この新しい機械は、すべての課題が記録的な速さで克服された、北アフリカ地域のコギテル社とW&H社のモデルプロジェクトになっています。W&H社技術センターの機械を利用することで納期を短縮し、パンデミックの制約を乗り越え、設置を予定通りに完了し、コギテル社は新しい印刷機械で効率と品質を向上させることができました。



時間はデリケートな重要項目:短納期

時間を無駄にしない為に、建物工事のタイミングと機械の到着を同期させる必要がありました。「時間は私たちにとって非常に重要な問題でしたが、もちろん克服不可能な問題ではありませんでした。W&H社は最初から、解決策を見つけるのに非常に協力的でかつアイデアに満ちていました。」と、メンテナンス・衛生・セキュリティ担当ディレクターのモハメッド・アリ・ガーゴウリ氏は振り返ります。「私共は、より迅速に利用できる技術センターの機械を、コギテル社に提供することにしました。これが唯一、3か月未満で機械納入の開始を可能にする方法だったのです。」W&H社の地域営業担当カールステン・バーニーはそう語っています。「結局、うまくいきました。ホール工事を終えた直後に、新しいマシンの最初の部品が到着しました。「現在機械は、空気濾過設備を備えた新しい独立した空調エリアに設置されており、最高の環境で稼働しています。確かにこれは、この地域全体のモデルケースになります。」と、ガーゴウリ氏は付け加えています。

パンデミック下でも、予定通りのオンタイム設置

2020年4月、機械の納入が完了すると、コロナパンデミックが本格化しました。「私共は、ほぼ毎日刻々と変化する感染状況と適用される規制に直面しました。これらは、パートナー双方にとって経験した事のない状況であり、柔軟な解決策を迅速に見つける必要がありました。W&H社は私共のチームの一員として協力、一緒になって非常に迅速に柔軟な解決策を見つけてくれました。たとえば、チュニジアで義務として必要となった検疫が、ホテルと工場の間で確立されました。「ほぼ毎日、次に行うべき項目と行動について緊密な協議がありました。チュニスでのW&H社の代理店である、EJEM社の代表であるマズーン氏も、直接のコミュニケーションと緊密な支援のための重要な役割を果たしてくれました。」とマラッキ氏は述べています。

ヘリオスターIIでの生産開始:改善された生産性、印刷速度、そして品質

ヘリオスターIIは現在、様々なタイプの製品、特に印刷用紙、乳製品パッケージ、および大ロットジョブなどに使用されています。「ヘリオスターIIの持つ、高速見当制御システムと、高速生産能力は、弊社の生産性を向上させ、ジョブチェンジ時間を低減することを可能にしました。」と、コギテル社の産業ディレクターであるハッサン・サーノウン氏は述べています。コギテル社は、ニスだけでなく欠陥も監視する100%の欠陥制御システムにより、生産速度を大幅に向上させ、廃棄物率を低減することも実現しました。「アルテアパッケージンググループの真のマイルストーン」と、ゼハル氏は満足げに語っています。「新しい、完全装備のHELIOSTARにより、コギテル社は地元で成長するだけでなく、中東北アフリカ地域全体とアフリカにおける主要なプレーヤーおよびリーダーとして成長する事でしょう。」と、バーニー氏は予見しています。

正しいタイミングで、正しいパートナーと

コギテル社がW&H社にアプローチした理由の1つは、W&H社との以前の経験に基づいています。80年代と90年代に、この軟包装コンバーターは2台のW&H社製グラビア印刷機、MERKURを導入しました。これらの印刷機は現在も生産に使用されています。「私共は、アルテアグループ並びにコギテル社との長期的なパートナーシップを非常に誇りに思っており、このお客様を再びサポートできたことを更なる誇りに感じています。」と、バーニー氏は述べています。「私共は、適切なタイミングで適切なサプライヤーを選択したことに気づいています。」との、プロジェクトの後見人でもあるゼハル氏の発言は、コギテル社とW&H社のパートナーシップの、明るい未来を予感させています。



W&H社グラビア印刷機 ヘリオスターII

W&H社のグラビア印刷機は、優れた印刷品質と対費用効果の高い生産を象徴する印刷機で、迅速なジョブチェンジと最大速度で印刷を実行することを可能にします。当社の全ての印刷機は、相互接続性、効率、生産性、および収益性に重点を置いており、円滑なパッケージ生産を可能にします。



コギテル社

1984年にチュニジアで設立されたコギテル社は、アルテアパッケージンググループの一部です。アルテアパッケージは、地中海を中心にマグレブおよび中東地域で展開する有数の軟包装コンバーターです。このグループは、食品、飲料、衛生市場向けの軟包装の開発、加工、印刷を専門としています。この地域に設立された多国籍企業を中心に、35年間地域市場の40%以上に軟包装サービスを提供しています。ラベル、スリーブ、蓋、集積、加飾、食品接触用フィルム、エコロジカルパッケージなど、より多くの軟包装ソリューションを輸出しています。



国内お問い合わせ先:

株式会社イリス

TEL: 03-3443-4280, e-mail: Japan-mp3@illies.com

HP: <http://event.irisu.jp/windmoeller-hoelscher-packaging-jpn/>